

千葉県袖ヶ浦福祉センター 養育園

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果

1 評価機関

名称	特定非営利活動法人コミュニティケア研究所
所在地	〒260-0026千葉市中央区千葉港4-4千葉県労働者福祉センター5階
評価実施期間	平成20年10月4日～平成20年10月5日 平成20年10月18日

2 評価対象事業者

名称	千葉県袖ヶ浦福祉センター養育園	種別	知的障害児施設
代表者氏名	小川延英	定員（利用者人数）	80名
所在地	〒299-0298袖ヶ浦市蔵波3108-1	TEL	0438-62-2722

3 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

特に評価の高い点

個々の利用者に応じた支援内容を展開しており、地域での生活を希望する利用者に対しては、法人内の自立訓練棟にて地域移行へ向けた支援を行う等、一人ひとりの利用者が求める支援を進めていく姿勢は十分評価に値する。英国で開発された言語とコミュニケーションの訓練法であるマカトン法の職員研修を開催して、実際の支援の場面でも取り入れており、利用者の意思を尊重したサービス提供に努めている。

特に改善を求められる点

事業所として、利用者個々の支援内容についての標準的なマニュアル作成を期待したい。情報の共有化は図られているが、それをマニュアルに落とし込んでいく取り組みが十分とは言えない。個々の利用者の状況によって支援内容を変えていることから、標準的なマニュアル作成は困難なものと思われるが、現在行っている支援内容を整理し、振り返ることが更なるサービス内容の質の向上に資するものと思われる。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント（受審事業者の意見）

利用者主体のサービス提供に向けた仕組みや組織の運営管理に関する体制は整備されている。一方、そうした仕組みを活用し、改善に努めるといふ、本来の段階には至っていないと認識しています。

また、多様な雇用形態の職員構成の中で、支援サービスの標準化が課題であり、ご指摘のとおりであります。

さらに、今回の第三者評価の中で実施した職員アンケート結果により、運営方針、経営ビジョンに対する職員の理解不足、意欲向上に向けた組織づくりの必要性（人材育成）が明らかになり、今後の取り組み課題としていきたいと考えています。

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア研究所

千葉県袖ヶ浦福祉センター 養育園

5 事業者の特徴（受審事業者の意見）

県立施設として、民間社会福祉法人では対応が困難な強度行動障害児、虚弱や重複、最重度の障害により手厚い介護が必要な障害児を受け入れ、生活支援・療育サービスを提供しています。

主な事業として、以下のものに取り組んでいます。

強度行動障害児特別処遇事業	定員4名
---------------	------

知的障害児自活訓練事業	適用4名
-------------	------

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア研究所

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果

6 分野別特記事項

【施設共通項目】

大項目	分野別特記事項（特に優れている点・特に改善を求められる点）
福祉サービスの基本方針と組織	事業団としての基本理念、中長期ビジョンが明確にされ、民間施設では対応が難しい障害者・児の支援を位置づけ、理事長、施設長、幹部職員の定期的な会議が行われている。また職員が直接理事長に提案する仕組みもあり、職員の意識向上につながり非常に有効であり、評価に値すると思われる。
組織の運営管理	毎月幹部会議を行って運営状況を把握し、四半期毎に収支検討を行なうなど、組織運営管理が適切に行なわれている。実習生の受け入れについて積極的に行なっており、実習依頼希望校も多いことから、事業団に対する信頼が伺える。安全管理については、場面を変えて毎月訓練を行い、障害児が避難しやすい環境を整えてあり、非常に高い評価に値すると思われる。遊具も年齢に合わせ、伸び伸びと過ごしている姿が見受けられた。
適切な福祉サービスの実施	寮日誌をパソコンにて入力することにより、個々の利用者の状況を一元管理する体制が構築されている。入力された情報は、個人記録、保健記録としても取りまとめられており、事務の効率化が図られている。事業所内にLANを構築していることから、寮舎間や職種を問わず利用者の状況の共有が図られ、どの職員も利用者の状況に沿った対応が行えるようになっている。これはサービスの質を担保する上で非常に効果的であり、十分評価に値するものである。

【施設共通項目】

大項目	分野別特記事項（特に優れている点・特に改善を求められる点）
サービスの内容	民間では対応が難しい、障害程度が重い児童を積極的に受け入れていることが大きな特色である。個々の利用者に応じた支援内容を展開しており、地域での生活を希望する利用者に対しては、法人内の自立訓練棟にて自立へ向けた支援を行う等、一人ひとりの利用者が求める支援を進めていく姿勢は十分評価に値する。利用者に応じたコミュニケーションの取り方についても、マカトン法の職員研修を開催し、実際の支援の場面でも取り入れており、利用者の意思を尊重したサービス提供に努めている。

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア研究所

千葉県袖ヶ浦福祉センター 養育園

福祉サービス第三者評価共通項目（施設系）の評価結果					評価結果	
大項目	中項目	小項目	項目			
福祉サービスの基本方針と組織	1 理念・基本方針	(1) 理念・基本方針の確立	1	理念が明文化されている。	A	
			2	理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	
		(2) 理念・基本方針の周知	3	理念や基本方針が職員に周知・理解されている。	A	
			4	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	A	
	2 計画の策定	(1) 中・長期的なビジョンの明確化	5	中・長期計画を踏まえた事業計画が作成されている。	A	
			(2) 重要課題の明確化	6	事業計画達成のための重要課題が明確化されている。	A
				7	施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが合議する仕組みがある。	A
	3 管理者のリーダーシップ	(1) 管理者のリーダーシップ	8	質の向上に意欲を持ち、その取り組みに指導力を発揮している。	A	
			9	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	
	組織の運営管理	1 経営状況の把握	(1) 経営環境の変化等への対応	10	事業経営を取り巻く環境が的確に把握されている。	A
11				経営状況を分析して、改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	A	
2 人材の確保・養成		(1) 人事管理体制の整備	12	施設の全職員が守るべき倫理を明文化している。	A	
			13	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行っている。	A	
			14	職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	A	
		(2) 職員の就業への配慮	15	事業所の就業関係の改善課題について、スタッフ（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。	A	
			16	福利厚生に積極的に取り組んでいる。	B	
			(3) 職員の質の向上への体制整備	17	職員の教育・研修に関する基本方針が明示されている。	A
18		定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。		A		
19		実習生の育成について、積極的な取り組みを行っている		A		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア研究所

千葉県袖ヶ浦福祉センター 養育園

	3	安全管理	(1) 利用者の安全確保	20	緊急時（事故、災害、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A		
				21	利用者の安全確保のためにリスクを把握し、対策を実行している。	A		
	4	地域との交流と連携	(1) 地域との適切な関係	22	地域との交流・連携を図っている。	A		
				23	利用者ニーズに応じて、施設外にある社会資源を活用している。	A		
				24	事業所が有する機能を地域に還元している。	A		
				25	関係機関等との連携が適切に行なわれている。	A		
			(2) 地域福祉の向上	26	地域の福祉ニーズを把握している。	A		
27	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	A						
適切な福祉サービスの実施	1	利用者本位の福祉サービス	(1) 利用者尊重の明示	28	施設的全職員を対象としたプライバシーの保護に関する研修を行なっている	A		
				29	プライバシーの保護の考え方の徹底を職員の間で図っている。	A		
			(2) 利用者満足の上昇	30	利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備している。	A		
				31	利用者満足の上昇に向けた取り組みを行っている	A		
			(3) 利用者意見の表明	32	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある	A		
				33	寄せられた意見、要望やトラブルに対応するシステムがある。	A		
				34	利用者からの意見等に対して迅速に対応している	B		
			2	サービスの質の確保	(1) サービスの質の向上への取り組み	35	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	A
						36	課題発見のための組織的な取り組みをしている。	A
	37	常に改善すべき課題に取り組んでいる。				A		
	(2) サービスの標準化	38			職員の対応について、マニュアル等を作成している。	A		
		39			日常のサービス改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	B		
	(3) 実施サービスの記録	40			利用者の日常の体調の変化を把握して、それを記録している。	A		
41		利用者の状態変化などサービス提供に必要な情報が、口頭や記録を通して職員間に伝達される仕組みがある。			A			

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア研究所

千葉県袖ヶ浦福祉センター 養育園

	サービス 3 の開始・ 継続	(1) サービス提供の 適切な開始	42	施設利用に関する問合せや見学に対応している。	A
			43	サービスの開始に当たり、利用者等に説明し、同意を得ている。	A
	サービス 4 実施計画の 策定	(1) 利用者への アセスメント	44	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	A
		(2) 個別支援計画の 策定	45	一人一人のニーズを把握して個別の支援計画を策定している。	A
			46	個別支援計画の内容が常に適切であるかの評価・見直しを実施している。	A
		(3) 情報の管理	47	個人情報保護に関する規定を公表している。	B

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア研究所

評価調査票(入所系共通項目-組織)

事業者名 千葉県袖ヶ浦福祉センター 養育園

(種別: 知的障害児施設)

評価基準	項目番号	自己評価	評価コメント	評点
福祉サービスの基本方針と組織				
- 1 理念・基本方針				
- 1 - (1) 理念、基本方針が確立されている。				
- 1 - (1) - 理念が明文化されている。	1	a b 倫理綱領・職員行動規範あり c	千葉県社会福祉事業団としての理念及び、安定的な経営に向けた基盤の強化、民間施設では対応が難しい障害者・児の支援、地域との連携強化、人材育成の強化、情報発信の強化を図るなどの目標が明文化されている。	A
- 1 - (1) - 理念に基づく基本方針が明文化されている。	2	a b 倫理綱領・職員行動規範あり c	利用者一人ひとりの生活と権利を守る支援、地域生活を希望する利用者の生活の実現、利用者の快適な暮らしの保障と健全な育成、民間施設の利用が難しい方の支援など、千葉県の障害者福祉施策に沿った事業運営に努めており、基本方針が明確である。	A
- 1 - (2) 理念、基本方針が周知されている。				
- 1 - (2) - 理念や基本方針が職員に周知されている。	3	a b 倫理綱領・職員行動規範を全職員に配布 c	事務室に掲示されており、雇用契約時に全職員に配布し周知している。	A
- 1 - (2) - 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	4	a b 利用者会や家族会等での資料提示はしていない。 c	千葉県社会福祉事業団のパンフレットに掲載されており、親の会(平成20年5月6日実施)で配布し周知されている。	A
- 2 計画の策定				
- 2 - (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。				
- 2 - (1) - 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	5	a b 事業団の中・長期計画あり c	千葉県社会福祉事業団の中長期経営ビジョンがあり、事業計画が策定されている。	A

評価基準		自己評価	評価コメント	評点
- 2 - (2) 重要課題の明確化				
- 2 - (2) - 事業計画達成のための重要課題が明確化されている。	6	a b c 事業計画書に記載	事業計画書に重要課題として、安定的な経営に向けた基盤強化、新法移行を視野に入れた新規事業スキームの構築、経費の更なる節減及び現有資源の徹底活用、ケアホーム事業の推進、事業団運営の検証、民間施設では対応が難しい障害者の支援、地域との連携、人材育成、情報発信(広報)の強化と明確にされている。	A
- 2 - (3) 計画が適切に策定されている。				
- 3 - (1) - 施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが合議する仕組みがある。	7	a b c 寮会議・職員会議で合議	職員全体会議が毎月開催され、リーダー以上が参加する幹部会議(各寮から参加する)も月1回行なわれている。参加できなかった職員は必ず記録等で確認している。情報管理のネットワークが確立されており、効率化が図られている。	A
- 3 管理者の責任とリーダーシップ				
- 3 - (1) 管理者のリーダーシップが発揮されている。				
- 3 - (1) - 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	8	a b c 不十分	理事長、施設長会議が毎週開催され、運営、経営改善点について協議、情報の共有を行っている。職員から直接理事長に提案する仕組みがあり、理事長が提案者から直接ヒアリングを行うなどして改善に繋げ、質の向上に努めている。	A
- 3 - (1) - 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	9	a b c 不十分	同法人の別事業所が管理していた寮(さくら荘)を、利用者のニーズに応えるため、養育園の自立訓練棟に使用することを実現した。施設長以下、全職員が改善に意欲をもって取り組んでいる様子が見受けられる。	A
組織の運営管理				
- 1 経営状況の把握				
- 1 - (1) 経営環境の変化等への対応				
- 1 - (1) - 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	10	a b c 経営会議等での報告あり	毎月1回、サブマネージャー以上が出席する幹部会議で、各施設の運営状況報告書を配布している。また、四半期毎に収支検討を行い、幹部職員に配布している。	A

評価基準		自己評価	評価コメント	評点
- 1 - (1) - 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	11	<input checked="" type="radio"/> a b 経営会議等での報告あり c	毎月の経営会議で、事故対応等について話し合わせ、事業団全体の問題については、理事長名で周知されている。	A
- 2 人材の確保・養成				
- 2 - (1) 人事管理の体制が整備されている。				
- 3 - (1) - 施設の全職員が守るべき倫理を明文化している	12	<input checked="" type="radio"/> a b 倫理規定の他、職員の行動規範有。 c	事業計画書の中に人材育成について記載されており、それが職員の行動規範となっている。事業団を担う人材として、また地域福祉を担う人材としてのあり方が明文化されている。	A
- 2 - (1) - 人事方針を策定し、これに基づく職員採用、人材育成を計画的・組織的に行っている。	13	<input type="radio"/> a b 人事についての規定、決定は明文化されていない。 <input checked="" type="radio"/> c	人事方針単独の文書等は作られていないが、事業団の事業計画に人事方針がある。人材育成・採用については現場から要望を出し、事務局で採否を決定している。	A
- 2 - (1) - 職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	14	<input checked="" type="radio"/> a b 人事考課あり c	事業団全体として人事考課マニュアルがある。また今年度から目標管理制度を設け、現場従業者は上長と面談を行い、進捗状況を確認している。	A
- 2 - (2) 職員の就業状況に配慮がなされている。				
- 2 - (2) - 事業所の改善課題について、スタッフ(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。	15	<input checked="" type="radio"/> a b 班会議・幹部会議・職員会議あり c	施設長参加の幹部会議、班会議、職員会議が毎月1回行なわれ、情報の共有が行なわれている。	A
- 2 - (2) - 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	16	<input type="radio"/> a <input checked="" type="radio"/> b カウンセラー等の専門化が不在。 c	歓送迎会、年3回の食事会等を行い職員間コミュニケーションを取っている。交代勤務の為全員が同時に行う事は出来ないが、班毎に行なっている。さらに言えば、日々の職員の健康状態の把握のために、職場を離れた第三者のカウンセラー等の連携があると、悩みやストレスの解消により役立つと思われる。	B

評価基準		自己評価	評価コメント	評点
- 2 - (3) 職員の質の向上への体制整備				
- 2 - (3) - 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	17	a b c 中・長期計画に職員の資質向上についての項目あり。	母体の千葉県社会福祉事業団全体で作成している年間事業計画の冒頭に、「人材育成の強化」を謳い、幹部職員の育成、地域福祉を担う人づくりへの寄与、人事考課制度の見直し、職員提案の実施等が明示されている。	A
- 2 - (3) - 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	18	a b c 研修計画・復命書による研修報告あり。	事業報告書に年間研修報告がある。職員は復命書で研修報告を行っており、さらに全職員で供覧してスキルアップに努めている。	A
- 2 - (3) - 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	19	a b c 年間100名以上の受け入れあり。	実習生受け入れ年間計画があり、年間100名以上の受け入れを行っている。受け入れ依頼大学が25校あり、積極的に実習生を受け入れている。	A
- 3 安全管理				
- 3 - (1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。				
- 4 - (1) - 緊急時(事故、災害、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	20	a b c リスクマニュアルあり。	緊急時訓練を毎月1回、夜間・昼間と場面を変えて行っている。感染症対策は同法人の診療室と連携を取り、予防や適切な対応を行っている。	A
- 4 - (1) - 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	21	a b c ヒヤリハット報告を毎月実施。	毎日の業務報告に基づき、毎月の職員会議に提出し、対策を検討している。	A
- 4 地域との交流と連携				
- 4 - (1) 地域との関係が適切に確保されている。				
- 4 - (1) - 地域との交流・連携を図っている。	22	a b c 町内一斉清掃日に地域に参加し草刈等の活動実施。	今年5月、地域のゴミゼロ運動に参加している。毎年行なわれるセンター祭りには近隣の農家の方が参加している。またクリスマス会には地元企業が参加するなど、地域との係りを増やすべく努力している。	A

評価基準		自己評価	評価コメント	評点
- 4 - (1) - 利用者ニーズに応じて、施設外にある社会資源を活用することを支援している。	23	a b c	社会資源の活用不足。一覧表がない。	A
- 4 - (1) - 事業所が有する機能を地域に還元している。	24	a b c	短期入所・日中一時支援事業の実施。その他様々な相談等を受けている	A
- 4 - (1) - 関係機関との連携を図っている。	25	a b c	児童相談所・各市町村・学校等と連携を持ち運営。	A
- 4 - (2) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。				
- 4 - (2) - 地域の福祉ニーズを把握している。	26	a b c	児童相談所と市町村とは随時連絡をとっているが民生委員との関係は少なく定期連絡会はない。	A
- 4 - (2) - 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	27	a b c	事業計画に基づいて実施。	A

評価調査票(入所系共通項目 サービス)

事業者名 千葉県袖ヶ浦福祉センター養育園

(種別: 知的障害児施設)

評価基準		自己評価	評価コメント	評点
適切な福祉サービスの実施				
- 1 利用者本位の福祉サービス				
- 1 - (1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。				
- 1 - (1) - 施設の全職員を対象としたプライバシーの保護に関する研修を行なっている	28	a b プライバシーに関する研修等はこれまでにない。 c	法人として「社会福祉法人千葉県社会福祉事業団個人情報保護規程」を制定しており、個人情報保護に特化した研修は実施していないものの、職員採用時には守秘義務についての説明を行っている。実習生に対しても指導をしている。	A
- 1 - (1) - プライバシーの保護の考え方の徹底を職員の間で図っている。	29	a b マニュアル等がない c	平成13年に制定された「千葉県社会福祉事業団職員行動規範」において、「プライバシー保護」の項目を建て、「職務上知り得た個人情報についての守秘義務」「プライベートな時間と場所の確保」「居住空間のプライバシー保持」が掲げられている。	A
- 1 - (2) 利用者満足の向上に務めている。				
- 1 - (2) - 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	30	a b 調査、相談がない。 c	利用者の希望や意向の把握は、日々の支援の中で把握するよう努めており、その内容は月に1度開催される全体職員会議等において共有されている。	A
- 1 - (2) - 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	31	a b 栄養士との懇談会実施 c	食事を例に掲げると、毎月1回開催される給食運営会議において、利用者の喫食状況や課題、解決法について検討される他、利用者が栄養士に希望等を伝えることのできる懇談会を不定期に設けている。	A
- 1 - (3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。				
- 1 - (3) - 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	32	a b 児童への周知不足。 c	訪問調査時に苦情箱が設けられていることを確認することができた。家族との面会の際においても意見や希望の把握に努めているとのことである。	A

評価基準		自己評価	評価コメント	評点
- 1 - (3) - 寄せられた意見、要望やトラブルに対応するシステムがある。	33	a b c 要綱あり「千葉県社会福祉事業団苦情解決制度実施要綱」	「千葉県社会福祉事業団苦情解決制度実施要綱」により、法人全体として苦情や要望等に対応する仕組みが構築されている。	A
- 1 - (3) - 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	34	a b c 要綱あり「千葉県社会福祉事業団苦情解決制度実施要綱」これまで実施無。	定期的に法人全体として第三者委員による相談会が開催されているものの、参加者がほとんどない状況である。相談会の周知方法について再検討が望まれる。また日常の支援や家族等の面会時に出る小さな意見・要望も集約し、共有することも必要と思われる。	B
- 2 サービスの質の確保				
- 2 - (1) 質の向上に向けた組織的な取り組みが組織的に行われている。				
- 2 - (1) - サービス内容について定期的な評価を行う体制を整備している。	35	a b c 自己評価はしているが、第3者評価はされていない。	平成13年度より日本知的障害者福祉協会、全国社会福祉協議会の第三者評価基準等を参考に、法人として作成した評価項目に基づいて自己評価に取り組んでいる。	A
- 2 - (1) - 課題発見のための組織的な取り組みをしている。	36	a b c 班会議で、個別ケースの状況を記載した文書あり。	会議の階層は、「法人全体」「事業所単位」「班単位」に分けられており、班会議から全体職員会議、幹部会議へとボトムアップする仕組みが構築されている。	A
- 2 - (1) - 常に改善すべき課題に取り組んでいる。	37	a b c 班会議，ケース会議で課題解決に取り組んでいる。	個別ケースの状況は、班会議やケース会議において報告、課題の抽出と解決方法について話し合いがなされる。利用者のニーズに対し、法人内の他事業所の施設を使用する必要が発生した際、全体職員会議において話し合った結果を踏まえ、幹部会議において他事業所との連携を実現したケースを確認することができた。	A
- 2 - (2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。				
- 2 - (2) - 職員の対応について、マニュアル等を作成している。	38	a b c マニュアルがない。	法人全体の手順書がある。また養育園は利用者の障害程度により寮が分かれているので、寮ごとに利用者の特性を踏まえて作成している詳細な手順書もある。	A

評価基準		自己評価	評価コメント	評点
- 2 - (2) - 日常のサービス改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	39	a b c マニュアルがない。	各寮の利用者の障がい特性に合わせ、寮単位での業務マニュアルは作成しており、利用者の状況に合わせて見直しも随時図られている。今後は、事業所全体のサービスの振り返りをするために、養育園全体の運営手順書などがあると、さらによいと思われる。	B
- 2 - (3) サービス実施の記録が適切に行われている。				
- 2 - (3) - 利用者の日常の体調の変化を把握して、それを記録している。	40	a b c 各班保健記録あり。	利用者の日々の様子は、まず「寮日誌」に詳細に記載される。そしてそれを元に「個人記録」「保健記録(医療面の記録)」に分類され、保管されている。	A
- 2 - (3) - 利用者の状態変化などサービス提供に必要な情報が、口頭や記録を通して職員間に伝達される仕組みがある。	41	a b c 班会議, ケース会議, PCでの連絡, 伝達が行われている。	寮日誌を含む利用者の状況は、パソコンにて管理されており、そのデータを元に保健記録等が作成される。事業所内にはLANが構築されており、日々の利用者の状況は職員間において横断的に共有されている。	A
- 3 サービスの開始・継続				
- 3 - (1) サービス提供の開始が適切に行われている。				
- 3 - (1) - 施設利用に関する問合せや見学に対応している。	42	a b c 随時対応している。	見学、問い合わせに関してはサブマネージャーが極力対応することにしており、窓口の一本化に努めていると共に説明の内容に齟齬が生じない対応が図られている。	A
- 3 - (1) - サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	43	a b c 保護者に契約時説明。	サービス開始時の説明は、各寮のリーダーが行っている。説明の時間は平均して2時間かけており、十分に理解を得た上でサービス利用に移るよう配慮がなされている。	A
- 4 サービス実施計画の策定				
- 4 - (1) 利用者のアセスメントが行われている。				
- 4 - (1) - 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	44	a b c 個別支援計画書に明示。	利用者一人ひとりに個別支援計画を作成し、利用者の課題、課題に対する解決の方策を個人別に記載し、管理している。	A

評価基準	自己評価		評価コメント	評点
- 4 - (2) 個別支援計画の策定				
- 4 - (2) - 一人一人のニーズを把握して個別の支援計画を策定している。	45	a (b) 不十分。 c	個別支援計画策定にあたっては、利用者のニーズを把握した上でそのニーズを満たすために必要な方策を記録し、取りまとめて保管をしている。	A
- 4 - (2) - 個別支援計画の内容が常に適切であるかの評価・見直しを実施している。	46	a (b) 不十分。 c	個別支援計画の見直しは半期ごとに行っており、班会議、個別ケース会議、学校の先生を交えた話し合いを踏まえて実態に即した計画となるよう努めている。	A
- 4 - (3) 情報の管理				
- 4 - (3) - 個人情報保護に関する規程を公表している。	47	a (b) 掲示していない。 c	「社会福祉法人千葉県社会福祉事業団個人情報保護規定」を策定している。しかしながら、施設内に掲示がないなど、広く一般に周知する取組みは充分とはいえない。	B